



2部構成で  
初のDAYに  
可能性を  
感じました

2016年1月20日(水)

19:00～21:00 参加者22名  
西小校区 共生ステーション

## なでラボDAY 第10回 ハイライト

### ▼「わたし」と「まち」の関係性を模索する「なでラボ」

なでラボ若旦那(代表)野田さんから、今回のDAYを「わたしワーク」と「まちワーク」の2部構成とした背景について熱い導入プレゼンがありました。特に、なでラボメンバーの大半は、「まち」との接点が少なくなりがちな若手市民が多く、その若手市民が「わたし=まち」を体感する場づくりに挑戦します。

#### ▼第一部 「防犯」についてアイデアを出してみよう

長久手市役所くらし文化部安心安全課から、長久手の犯罪についての傾向について、レクチャーをしていただき、そのための新たな取り組みとして「ジョギングしながら防犯パトロール=ジョグパト」についてアイデア出しをしました。

3つのグループからは、「**無料アプリ**を活用したジョグパトの見える化」や、「趣味ごとで募集して趣味の話をしながらジョグパト」、「**スイーツジョグパト**」、「**体育会系学生さん**による本気でジョグパト(**バイト化**)」などなど、いろいろなアイデアが出されました。



#### ▼第2部 なでラボ Night の現状と今後について深堀り

食を通して交流を図る「なでラボ Night」について、やってみたからこそ分かってきたことを、朝岡さんから発表していただき、グループで深堀りしました。3つのグループからは、「若手市民でおいしい食とともに『まち』の話をするというコンセプトに共感→これまでの**場所に縛られず開催**しては？」とか、「ラボトークのように**テーマを持って開催**しては？」、「なでラボへのきっかけとしてのNightに期待！**個人の話が出来る場**として位置付けてみては？」など、いろいろな意見が出されました。



とは、「な」がくて「で」きたて「ラボ」ラトリーの略です。

若い世代からは遠く感じられている「まち」への入り口だと思っています。

「わたしのやりたい事」が結果的にまちのためにもなっていた」とか、「若手市職員さんから『まちの課題』を聞いてワークショップしていたら、ちょっと動き出したくなった」という事例をつくる実験の場です。